

# 資料編

- I 総務企画班業務
- II 地域保健班業務
- III 健康推進班業務
- IV 生活環境班業務
- V 学生実習
- VI 研修・講習
- VII 研究実績



# I 総務企画班業務

## 1 管内人口の状況

### (1) 市町村別人口の推移

年次	管内総数	宮古島市	平良市	城辺町	下地町	上野村	伊良部町	多良間村
昭和45年	60,953	—	29,721	12,053	4,022	3,739	9,132	2,286
昭和50年	57,762	—	29,301	10,883	3,116	3,493	9,164	1,805
昭和55年	60,464	—	32,924	10,203	3,017	3,500	9,153	1,667
昭和60年	60,167	—	33,406	9,671	2,921	3,502	9,035	1,632
平成2年	57,458	—	33,124	8,564	2,892	3,227	8,155	1,496
平成7年	56,248	—	33,387	7,896	3,045	3,179	7,424	1,317
平成12年	55,805	—	33,726	7,649	3,206	3,183	6,709	1,332
平成17年	55,200	—	34,190	6,879	3,225	3,274	6,236	1,396
平成18年	54,442	53,127	—	—	—	—	—	1,315
平成19年	54,021	52,734	—	—	—	—	—	1,287
平成20年	53,626	52,352	—	—	—	—	—	1,274
平成21年	53,478	52,222	—	—	—	—	—	1,256
平成22年	53,452	52,203	—	—	—	—	—	1,249
平成23年	53,209	52,024	—	—	—	—	—	1,185
平成24年	53,122	51,959	—	—	—	—	—	1,163
平成25年	53,036	51,885	—	—	—	—	—	1,151
平成26年	52,732	51,614	—	—	—	—	—	1,118
平成27年	52,441	51,356	—	—	—	—	—	1,085
平成28年	52,164	50,997	—	—	—	—	—	1,167
平成29年	52,343	51,180	—	—	—	—	—	1,163
平成30年	52,456	51,299	—	—	—	—	—	1,157
令和元年	53,289	52,176	—	—	—	—	—	1,113
令和2年	53,510	52,420	—	—	—	—	—	1,090
令和3年	53,433	52,339	—	—	—	—	—	1,094
令和4年	53,967	52,903	—	—	—	—	—	1,064
令和5年	54,097	53,056	—	—	—	—	—	1,041
令和6年	54,031	53,022	—	—	—	—	—	1,009

資料：沖縄県企画部統計課 HP「沖縄県統計資料 WEB サイト」各年10月1日時点の人口  
(平成17年は9月1日時点)

### (2) 市村別人口の構成

各項目	面積 (Km <sup>2</sup> )	人口			人口密度 (人/Km <sup>2</sup> )	世帯数	1世帯あたり人口 (人/世帯数)
		総数	男	女			
管内	225.90	54,031	27,258	26,773	239.18	26,952	2.00
宮古島市	203.90	53,022	26,700	26,322	260.04	26,466	2.00
多良間村	22.00	1,009	558	451	45.86	486	2.08

※面積は国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和6年10月1日時点

※人口及び世帯数は沖縄県企画部統計課 HP「沖縄県統計資料 WEB サイト」令和6年10月1日時点

## 2 管内人口動態

### (1) 人口動態統計について

#### ア 調査の目的と沿革

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的としている。

人口動態調査は、明治31年に「戸籍法」が制定され、登録制度が法体系的にも整備されたのを機会に、同32年から1件につき1枚の個別票（人口動態調査票）を作成し、中央集計をする近代的な人口動態統計制度が確立された。

その後、昭和22年6月に「統計法」に基づき「指定統計第5号」として指定され、その事務の所管は同年9月1日に総理府から厚生省へ移管された。

さらに、平成21年4月より、新「統計法」（平成19年法律第53号）に基づく基幹統計調査となっている。

#### イ 調査の対象、客体及び抽出方法

「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としている（全数調査）。

#### ウ 調査事項

人口動態調査票は、次に挙げる5種であり、概要は以下のとおりである。

- (a) 出生票：出生の年月日、場所、体重、父母の氏名及び年齢等の出生届に基づく事項
- (b) 死亡票：死亡者の生年月日、住所、死亡の年月日等の死亡届に基づく事項
- (c) 死産票：死産の年月日、場所、父母の年齢等の死産届に基づく事項
- (d) 婚姻票：夫妻の年月日、夫の住所、初婚・再婚の別等の婚姻届に基づく事項
- (e) 離婚票：夫妻の年月日、住所、離婚の種類等の離婚届に基づく事項

#### エ 調査の時期

調査該当年の1月1日から同年12月31日まで

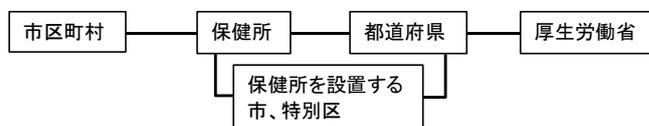
#### オ 調査の方法

- (a) 市区町村長は、出生、死亡、死産、婚姻及び離婚の届出を受けたときは、その届書等に基づいて人口動態調査票を作成し、これを保健所の管轄区域によって当該保健所長に送付する。

保健所長は、市区町村長から提出された調査票を取りまとめ、毎月、都道府県知事に送付する。

- (b) 報告の系統図

- (c) 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行う。



(2) 用語の説明及び比率の解説について

ア 自然増減・・・出生数－死亡数

イ 乳児死亡・・・生後1年未満の死亡

ウ 新生児死亡・・・生後4週未満の死亡

エ 早期新生児死亡・・・生後1週間未満の死亡

オ 死産・・・・・・・・・・妊娠満12週（妊娠第4月）以後の死児の出産

※ 死児とは、出産後において心臓搏動、随意筋の運道及び呼吸のいずれも認めないものをいう。

※ 死産には自然死産と人工死産があり、人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置（胎児又は付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用）を加えたことにより死産に至った場合をいい、それ以外は全て自然死産とする。

なお、人工的処置を加えた場合でも、次のものは自然死産とする。

(a) 胎児を出生させることを目的とした場合

(b) 母体内の胎児が生死不明又は死亡している場合

カ 周産期死亡・・・妊娠満22週（154日）以後の死産＋早期新生児死亡

キ 出生・死亡・婚姻・離婚率

$$= (\text{年間事件数} \div \text{人口}) \times 1,000$$

ク 自然増加率

$$= \{(\text{年間出生数} - \text{年間死亡数}) \div \text{10月1日現在人口}\} \times 1,000$$

ケ 死産率

$$= \{\text{年間死産数} \div (\text{年間出生数} + \text{年間死産数})\} \times 1,000$$

コ 乳児死亡・新生児死亡・早期新生児死亡率

$$= (\text{年間乳児 or 新生児 or 早期新生児死亡数} \div \text{年間出生数}) \times 1,000$$

サ 周産期死亡率

$$= \{\text{年間周産期死亡数} \div (\text{年間出生数} + \text{年間妊娠満22週以後の死産数})\} \times 1,000$$

シ 合計特殊出生率

$$= [\text{年齢別出生数 (5歳階級別)} \div \text{年齢別女子人口 (5歳階級別)}] \text{の総和} \\ (15 \sim 49 \text{歳までの7階級}) \times 5$$

※ 合計特殊出生率とは、15～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

(3) 結果の公表などについて

概ね、毎年9月上旬ごろに前年の人口動態調査の確定数が公表される。詳細については、厚生労働省のホームページを参照のこと。

(参考) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>

(4) 人口動態統計の概要

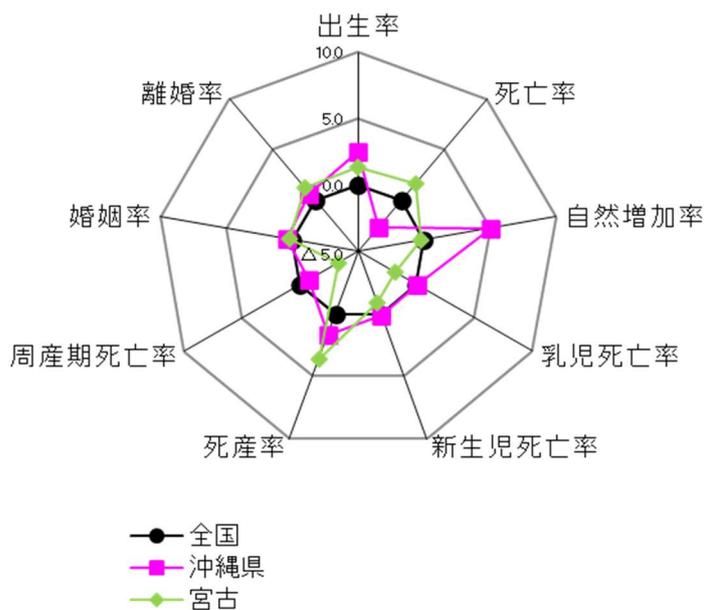
令和6年

項目	実数・率	実数 (人、組)					率 (%)					沖縄県 全国順位
		全国	沖縄県	宮古管内	宮古島市	多良間村	全国	沖縄県	宮古管内	宮古島市	多良間村	
出生		686,173	11,753	383	378	5	5.7	8.2	7.1	7.1	5.0	1位
死亡		1,605,378	15,458	809	796	13	13.3	10.8	15.0	15.0	12.9	46位
自然増減		△ 919,205	△ 3,705	△ 426	△ 418	△ 8	△ 7.6	△ 2.6	△ 7.9	△ 7.9	△ 7.9	-
乳児 (生後1年未満) 死亡		1,266	23	0	0	0	1.8	2.0	0.0	0.0	0.0	20位
新生児 (生後4週未満) 死亡		637	12	0	0	0	0.9	1.0	0.0	0.0	0.0	19位
死産		15,323	283	10	10	0	21.8	23.5	25.4	25.8	0.0	12位
自然死産		6,849	117	1	1	0	9.8	9.7	2.5	2.6	0.0	-
人工死産		8,474	166	9	9	0	12.1	13.8	22.9	23.2	0.0	-
周産期死亡		2,285	30	0	0	0	3.3	2.5	0.0	0.0	0.0	45位
妊娠満22週以後の死産		1,800	19	0	0	0	2.6	1.6	0.0	0.0	0.0	-
早期新生児死亡		485	11	0	0	0	0.7	0.9	0.0	0.0	0.0	-
婚姻		485,092	6,388	229	226	3	4.0	4.4	4.2	4.3	3.0	4位
離婚		185,904	3,222	150	146	4	1.5	2.2	2.8	2.8	4.0	1位

資料：令和6年厚生労働省人口動態調査確定値 (R7.9月公表)

※沖縄県企画部統計課 HP「沖縄県統計資料 WEB サイト」における R6.10.1 時点の推計人口を使用して率を算出している。

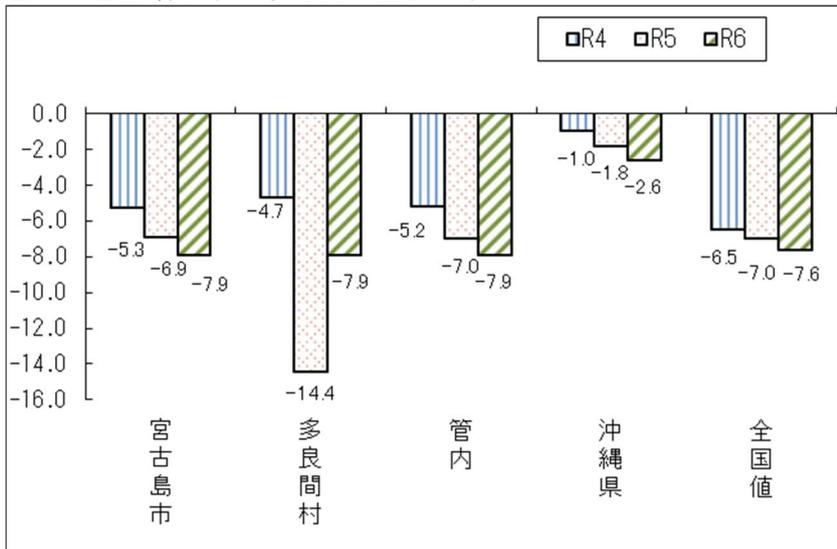
図1. 人口動態レーダーチャート (令和6年)



	全国	沖縄県	宮古
出生率	0.0	2.5	1.4
死亡率	0.0	△ 2.6	1.6
自然増加率	0.0	5.1	△ 0.2
乳児死亡率	0.0	0.1	△ 1.8
新生児死亡率	0.0	0.1	△ 0.9
死産率	0.0	1.7	3.6
周産期死亡率	0.0	△ 0.8	△ 3.3
婚姻率	0.0	0.4	0.2
離婚率	0.0	0.7	1.2

人口動態統計で使用される主な指標を用いて、全国を基準として沖縄県及び宮古管内の値がどの位置にあるのかを示している。

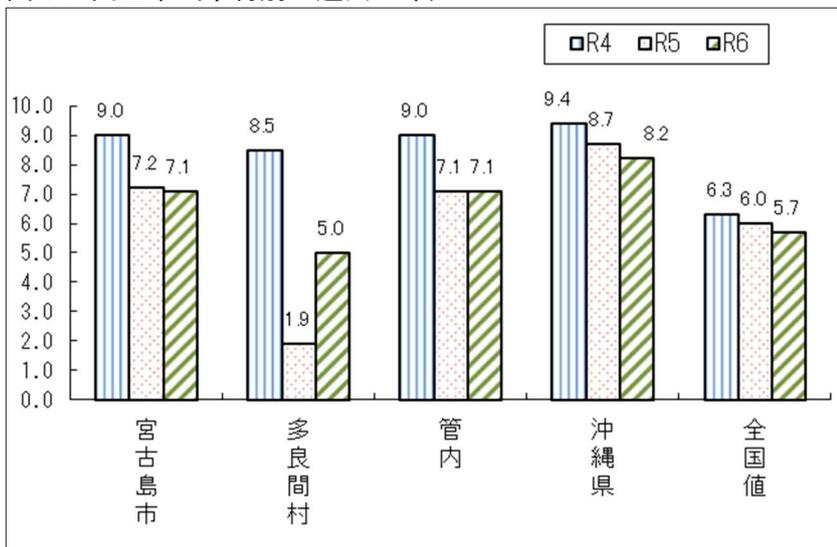
図2. 自然増加率（市村別・過去3年）



自然増加率の動向

全国的に減少傾向にある。  
管内は、県全体と比較すると大きく下回っている。

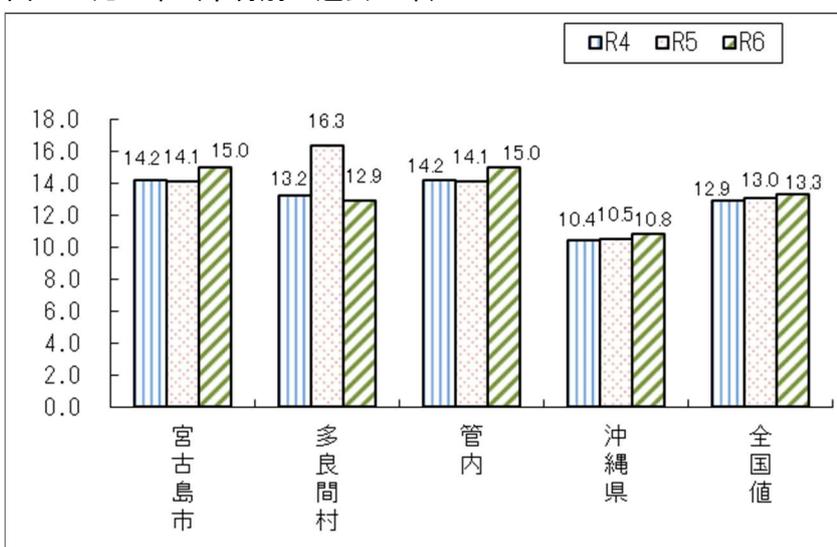
図3. 出生率（市村別・過去3年）



出生率の動向

全国的に減少傾向にある。  
管内と県全体は、全国より高い水準となっている。

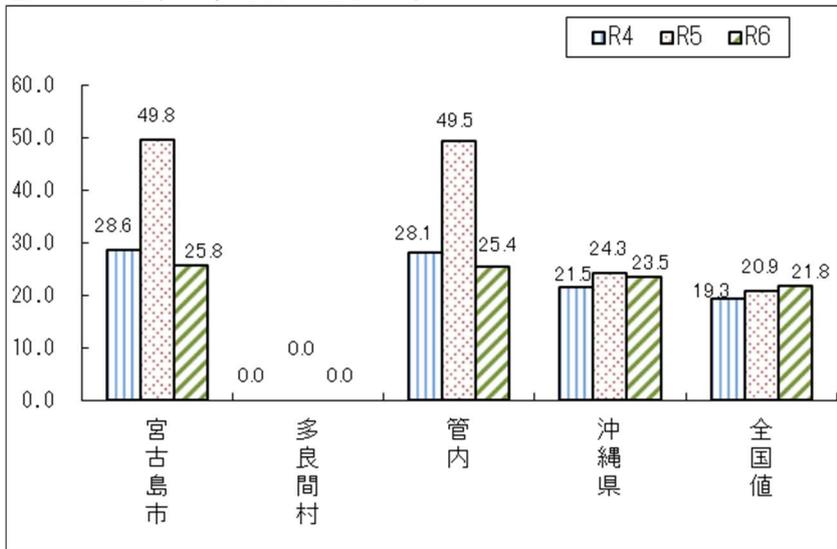
図4. 死亡率（市村別・過去3年）



死亡率の動向

全国的に増加傾向にある。  
管内は、全国及び県全体と比較すると、人口の高齢化を反映して高い水準で推移している。

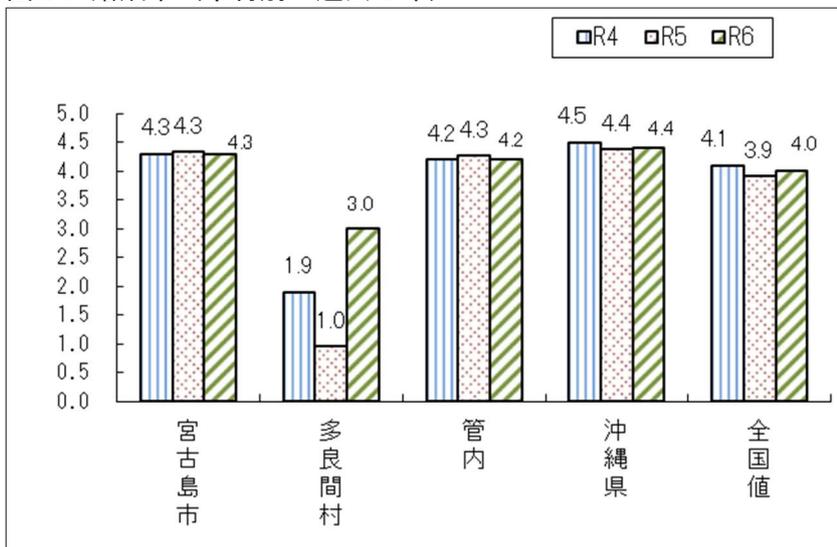
図5. 死産率（市村別・過去3年）



死産率の動向

県全体は全国よりもやや高い水準であるが、管内ではさらに高い水準となっている。

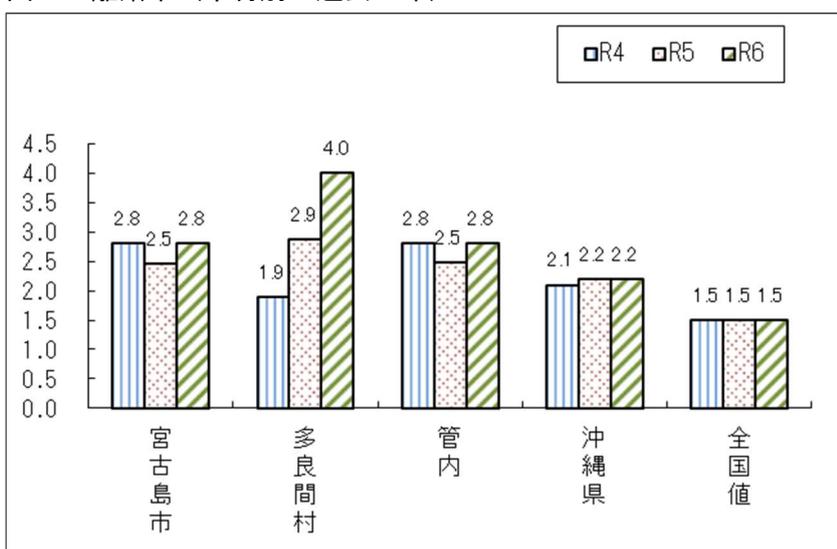
図6. 婚姻率（市村別・過去3年）



婚姻率の動向

管内、県全体は全国よりやや高い水準となっている。

図7. 離婚率（市村別・過去3年）



離婚率の動向

県全体では、全国よりも高い水準であるが、管内ではさらに高い水準になっている。

(5) 令和6年人口動態総覧（市村別）

ア 人口動態総覧

令和6年

単位：人、件

項目	出生児数			(再掲) 低体重児 数	死亡者数			(再掲) 乳児 死亡者数	(再掲) 新生児 死亡者数	死産胎数			周産期 死亡数			婚姻 件数	離婚 件数
	男	女	計		男	女	計			計	計	自然	人工	計	後 期		
				市村													
宮古島市	184	194	378	35	450	346	796	0	0	1	9	10	0	0	0	226	146
多良間村	2	3	5	0	9	4	13	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4
管内	186	197	383	35	459	350	809	0	0	1	9	10	0	0	0	229	150

資料：令和6年厚生労働省人口動態調査確定値（R7.9月公表）

- 低体重児：2,500g未満の出生児
- 乳児死亡：生後1年未満の死亡
- 新生児死亡：生後4週間未満の死亡
- 死産：妊娠満12週以後の死児の出生
- 周産期死亡：後期⇒妊娠22週以後の死産
- 早期⇒生後1週間未満の死亡

イ 人口動態総覧（率）

令和6年

単位：‰

市村	項目	出生率	死亡率	(再掲) 乳児 死亡率	(再掲) 新生児 死亡率	死産率	周産期 死亡率	婚姻率	離婚率
宮古島市	R4年	9.0	14.2	-	-	28.6	2.1	4.3	2.8
	R5年	7.2	14.1	-	-	49.8	-	4.3	2.5
	R6年	7.1	15.0	-	-	25.8	-	4.3	2.8
多良間村	R4年	8.5	13.2	-	-	-	-	1.9	1.9
	R5年	1.9	16.3	-	-	-	-	1.0	2.9
	R6年	5.0	12.9	-	-	-	-	3.0	4.0
管内	R4年	9.0	14.2	-	-	28.1	2.1	4.2	2.8
	R5年	7.1	14.1	-	-	49.5	-	4.3	2.5
	R6年	7.1	15.0	-	-	25.4	-	4.2	2.8

資料：令和4年～令和6年厚生労働省人口動態調査確定値

※沖縄県企画部統計課 HP「沖縄県統計資料 WEB サイト」における各年10月1日時点の推計人口を使用して率を算出している。

(6) 管内合計特殊出生率（平成27～令和6年）

■合計特殊出生率

	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
宮古管内（宮古島市+多良間村）	2.57	2.32	2.20	2.12	2.19	2.16	1.90	1.92	1.54	1.50
宮古島市	2.60	2.32	2.24	2.14	2.22	2.17	1.92	1.92	1.56	1.50
多良間村	1.59	2.70	0.81	0.97	1.11	1.54	0.96	2.70	0.58	1.77
沖縄県	1.96	1.95	1.94	1.89	1.82	1.83	1.8	1.7	1.6	1.54
全国	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.3	1.26	1.2	1.15

資料：①平成27年～令和6年厚生労働省人口動態調査確定値

②管内⇒未公表のため、当保健所において算出

※合計特殊出生率とは、出産可能年齢（15歳～49歳）の女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が生涯、何人の子どもを産むのかを推計したもので、計算式は以下のとおり。

$$\text{計算式：} [\text{年齢別出生数（5歳階級別）} \div \text{年齢別女子人口（5歳階級別）}] \text{の総和} \\ (\text{15歳～49歳までの7階級}) \times 5$$

※年齢別出生数（5歳階級別）については、厚生労働省人口動態調査結果（確定数）出生表 5-2-47

「出生数, 都道府県・市区町村・性・母の年齢（5歳階級）別」を参照した。

※平成 27 年～令和元年の基準女子人口は平成 27 年の国勢調査資料を、令和 2 年度以降の基準女子人口は令和 2 年度の国勢調査資料を参照した。

(7) 管内人口動態総覧の年次推移

単位：人、組

	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	対前 年比
管内人口	52,441	52,164	52,343	52,456	53,289	53,510	53,433	53,967	<b>54,097</b>	54,031	△ 66
出生数	<b>611</b>	564	534	525	524	529	475	484	384	383	△ 1
男	<b>314</b>	297	262	271	264	271	261	212	205	186	△ 19
女	<b>297</b>	267	272	254	260	258	214	272	179	197	18
死亡者数	636	646	640	674	702	704	654	767	763	<b>809</b>	46
男	323	352	372	355	373	393	363	392	424	<b>459</b>	35
女	313	294	268	319	329	311	291	<b>375</b>	339	350	11
乳児 死亡者数	0	<b>2</b>	0	1	0	1	1	0	0	0	0
男	0	0	0	<b>1</b>	0	0	<b>1</b>	0	0	0	0
女	0	<b>2</b>	0	0	0	1	0	0	0	0	0
新生児 死亡者数	0	<b>2</b>	0	1	0	1	0	0	0	0	0
男	0	0	0	<b>1</b>	0	0	0	0	0	0	0
女	0	<b>2</b>	0	0	0	1	0	0	0	0	0
死産胎数	14	13	14	18	14	11	<b>21</b>	14	20	10	△ 10
自然	2	3	5	10	6	6	<b>11</b>	4	8	1	△ 7
人工	<b>12</b>	10	9	8	8	5	10	10	<b>12</b>	9	△ 3
周産期 死亡数	0	2	1	<b>3</b>	0	1	2	1	0	0	0
後期	0	0	1	<b>2</b>	0	0	<b>2</b>	1	0	0	0
早期	0	<b>2</b>	0	1	0	1	0	0	0	0	0
婚姻件数	276	296	285	271	<b>309</b>	273	236	228	231	229	△ 2
離婚件数	<b>167</b>	139	148	140	162	160	126	151	134	150	16

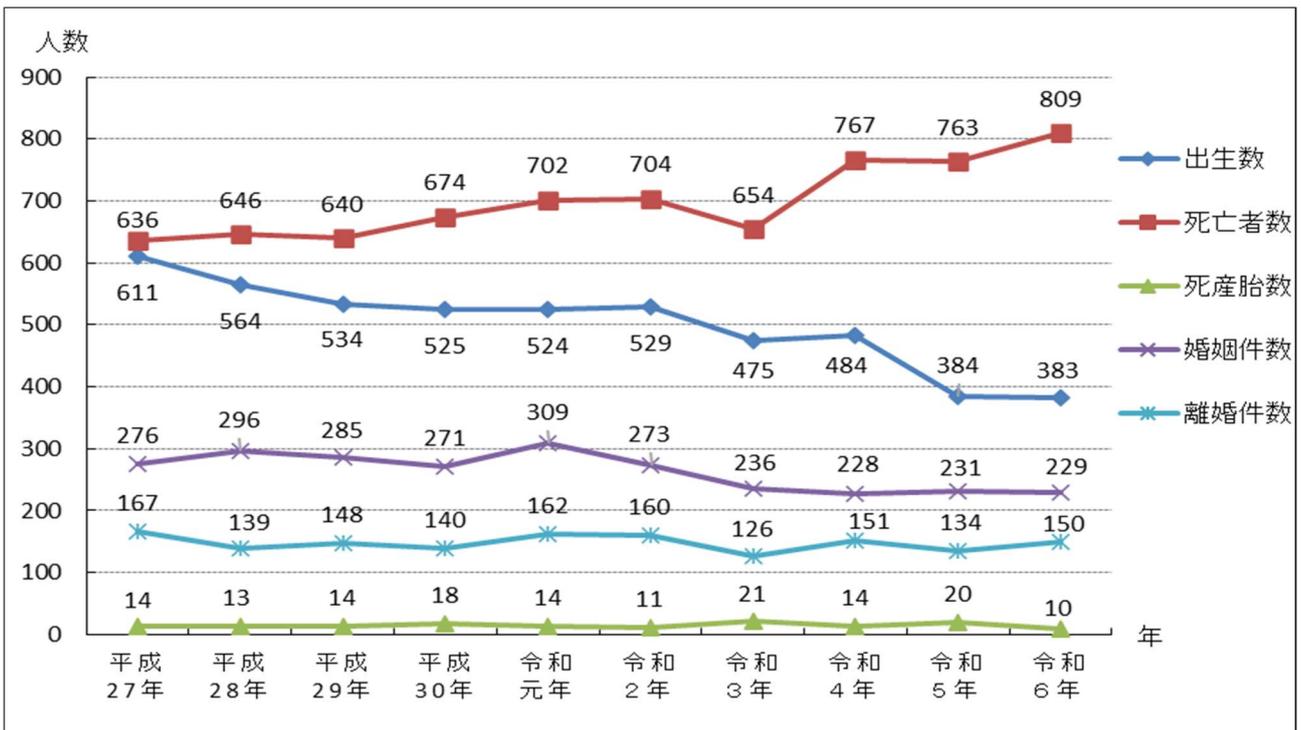
資料：①沖縄県企画部統計課 HP「沖縄県統計資料WEB サイト」（管内人口）

②平成27年～令和6年厚生労働省人口動態調査確定値

※太字下線付は、平成27年～令和6年までの最高値を表している。

※管内人口については、各年10月1日時点。

図8. 人口動態総覧の年次推移（管内）



(8) 死亡の状況

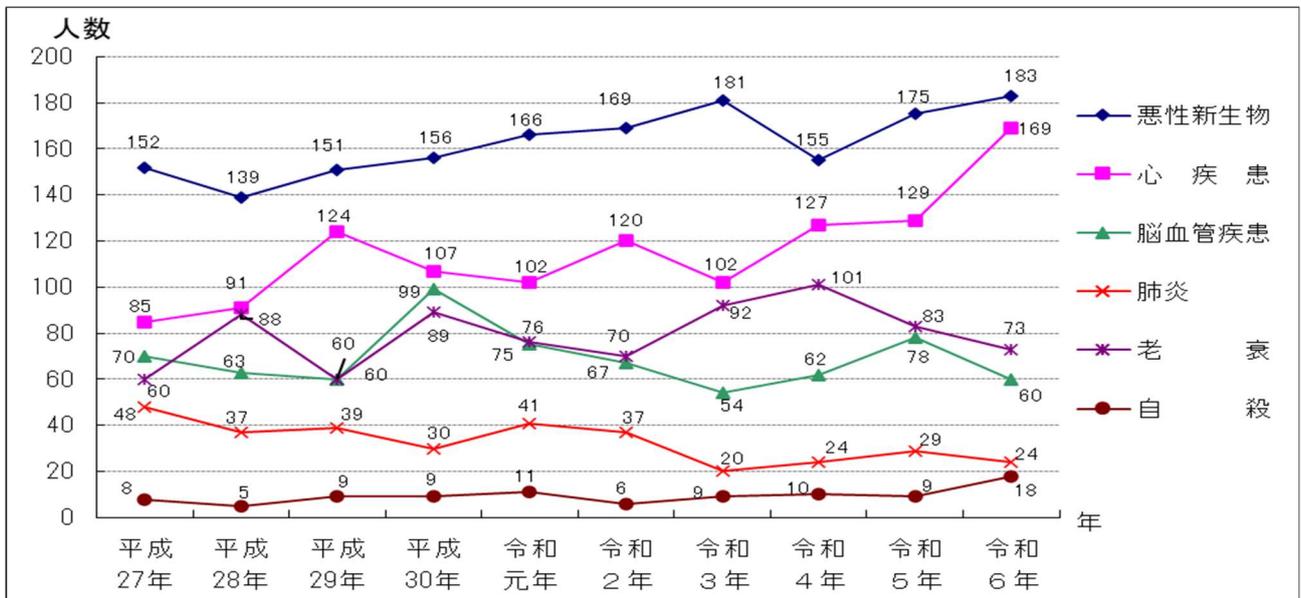
ア 死亡者数（死因別・市村別）

死 因	総数	令和 6 年	
		宮古島市	多良間村
結 核	0	0	0
悪性新生物	183	178	5
糖 尿 病	6	6	0
高血圧性疾患	15	15	0
心 疾 患	169	167	2
脳血管疾患	60	60	0
肺炎	24	24	0
肝 疾 患	18	18	0
腎 不 全	15	15	0
老 衰	73	73	0
不慮の事故	16	16	0
自 殺	18	18	0
そ の 他	212	206	6
合 計	809	796	13

イ 死亡者数（年代別・市村別）

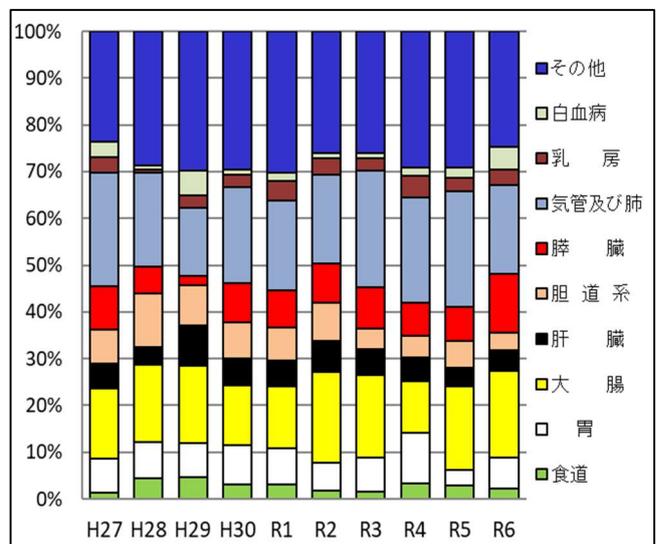
年 代	総数	令和 6 年	
		宮古島市	多良間村
10歳未満	0	0	0
10歳-19歳	2	2	0
20歳-29歳	1	0	1
30歳-39歳	5	5	0
40歳-49歳	16	16	0
50歳-59歳	25	24	1
60歳-69歳	94	93	1
70歳-79歳	152	149	3
80歳-89歳	238	233	5
90歳以上	276	274	2
合 計	809	796	13

ウ 死因別死亡数の年次推移（管内）



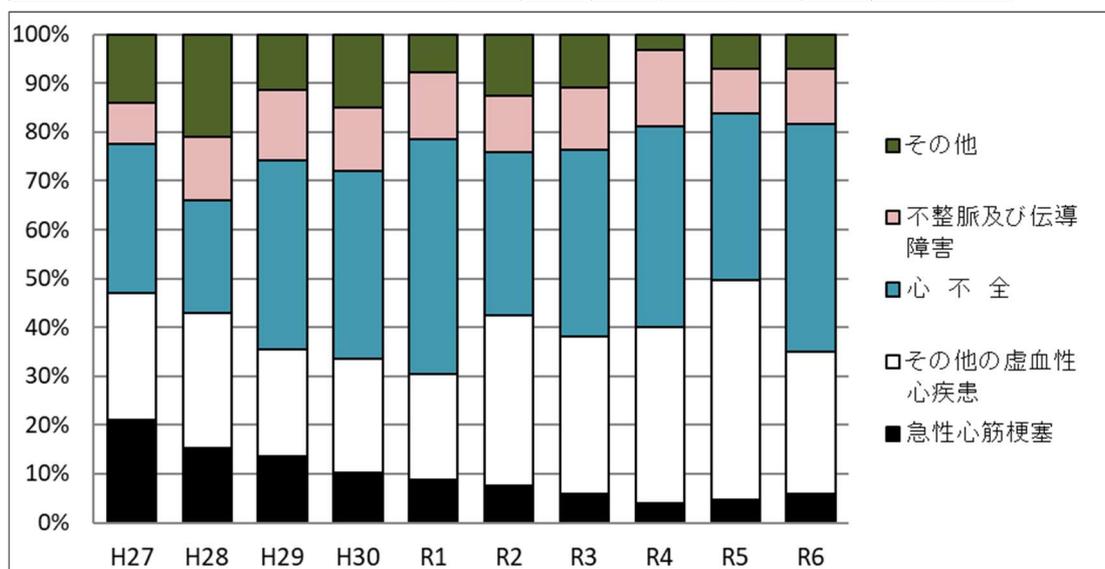
エ 悪性新生物部位別死亡者数（市村別）及び部位別死亡者割合年次推移（管内）

悪性新生物 部 位	総数			宮古島市			多良間村		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
食 道	5	5	4	5	4	4	0	1	0
胃	17	6	12	16	6	12	1	0	0
結 腸	10	23	26	8	23	26	2	0	0
直 腸	7	8	8	7	7	7	0	1	1
肝 臓	8	7	8	8	6	6	0	1	2
胆 道 系	7	10	7	7	10	7	0	0	0
膵 臓	11	13	23	11	12	23	0	1	0
気管及び肺	35	43	35	35	41	35	0	2	0
乳 房	7	5	6	7	5	6	0	0	0
子 宮	2	1	2	2	1	2	0	0	0
白 血 病	3	4	9	3	4	7	0	0	2
そ の 他	43	50	43	43	48	43	0	2	0
合 計	155	175	183	152	167	178	3	8	5



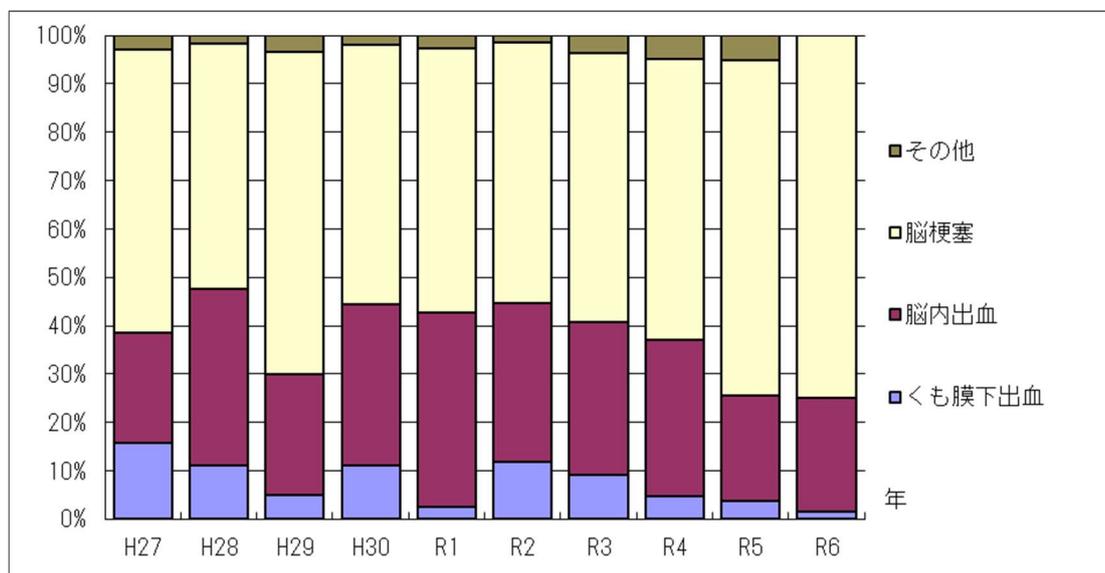
オ 心疾患による死亡者数（種別、市村別）及び死亡割合年次推移（管内）

死 因	総数			宮古島市			多良間村		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
急性心筋梗塞	5	6	10	5	5	10	0	1	0
その他の虚血性心疾患	46	58	49	45	58	48	1	0	1
心不全	52	44	79	52	43	78	0	1	1
不整脈及び伝導障害	20	12	19	20	12	19	0	0	0
その他	4	9	12	4	8	12	0	1	0
合 計	127	129	169	126	126	167	1	3	2



カ 脳血管疾患による死亡者数（種別、市村別）及び死亡者割合年次推移（管内）

脳血管疾患 死因種別	総数			宮古島市			多良間村		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
くも膜下出血	3	3	1	3	3	1	0	0	0
脳内出血	20	17	14	20	17	14	0	0	0
脳梗塞	36	54	45	36	53	45	0	1	0
その他	3	4	0	3	4	0	0	0	0
合 計	62	78	60	62	77	60	0	1	0



## II 地域保健班業務

### 1 難病対策

#### (1) 受給者証交付状況詳細

令和6年度(単位:件)

疾病名	交付 件数	新規	更新	男	女	1 0 代 未 満	1 0 代	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	7 0 代 以 上	宮 古 島 市	多 良 間 村
筋萎縮性側索硬化症	3	0	3	1	2	0	0	0	0	1	0	1	1	3	0
進行性核上性麻痺	10	0	10	8	2	0	0	0	0	0	0	5	5	10	0
パーキンソン病	56	6	50	27	29	0	0	0	0	1	0	13	42	55	1
大脳皮質基底核変性症	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
重症筋無力症	24	5	19	14	10	0	0	1	0	1	6	8	8	24	0
多発性硬化症/視神経脊髄炎	5	2	3	4	1	0	0	0	0	1	2	0	2	5	0
慢性炎症性脱髄性多発神経炎/ 多巣性運動ニューロパチー	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
クロウ・深瀬症候群	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
多系統萎縮症	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を 除く。)	4	0	4	2	2	0	0	0	0	0	1	1	2	4	0
ライソゾーム病	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
ミトコンドリア病	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
もやもや病	3	0	3	2	1	0	0	1	1	0	0	1	0	3	0
亜急性硬化性全脳炎	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
全身性アミロイドーシス	4	1	3	3	1	0	0	0	0	0	0	3	1	4	0
神経線維腫症	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
天疱瘡	4	1	3	2	2	0	0	0	0	1	0	2	1	4	0
膿疱性乾癬(汎発型)	6	0	6	2	4	0	0	0	0	2	1	1	2	6	0
高安静脈炎	2	0	2	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0
巨細胞性動脈炎	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0
結節性多発動脈炎	3	0	3	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0
顕微鏡的多発血管炎	4	3	1	3	1	0	0	0	0	0	1	0	3	4	0
多発血管炎性肉芽腫症	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	6	3	3	1	5	0	0	0	0	1	1	1	3	6	0
悪性関節リウマチ	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0
全身性エリテマトーデス	27	2	25	0	27	0	0	4	2	3	6	9	3	26	1
皮膚筋炎/多発性筋炎	14	2	12	0	14	0	0	0	0	1	0	5	8	13	1
全身性強皮症	5	1	4	0	5	0	0	0	0	1	0	2	2	5	0
混合性結合組織病	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
シェーグレン症候群	12	6	6	1	11	0	0	0	1	2	0	4	5	12	0
成人発症スチル病	8	2	6	1	7	0	0	0	0	1	2	1	4	8	0
再発性多発軟骨炎	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
ベーチェット病	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1
特発性拡張型心筋症	8	2	6	6	2	0	0	0	0	4	2	1	1	7	1
肥大型心筋症	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
再生不良性貧血	5	0	5	3	2	0	0	1	0	2	1	0	1	4	1
免疫性血小板減少症	3	2	1	2	1	0	0	1	1	0	0	0	1	3	0
IgA 腎症	7	1	6	4	3	0	0	0	3	1	3	0	0	6	1
多発性嚢胞腎	2	1	1	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0

黄色靭帯骨化症	15	3	12	12	3	0	0	0	1	0	2	5	7	14	1
後縦靭帯骨化症	30	6	24	22	8	0	0	0	0	1	3	13	13	30	0
広範脊柱管狭窄症	8	0	8	5	3	0	0	0	0	0	0	3	5	8	0
特発性大腿骨頭壊死症	11	0	11	5	6	0	0	0	1	3	2	2	3	10	1
下垂体性 ADH 分泌異常症	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
下垂体前葉機能低下症	5	0	5	2	3	0	0	1	0	1	1	0	2	5	0
サルコイドーシス	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0
特発性間質性肺炎	4	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	4	0
肺動脈性肺高血圧症	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0
慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0
網膜色素変性症	19	2	17	7	12	0	0	0	0	2	2	7	8	19	0
原発性胆汁性胆管炎	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0
原発性硬化性胆管炎	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
自己免疫性肝炎	2	1	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0
クローン病	14	4	10	9	5	0	0	3	1	5	3	2	0	14	0
潰瘍性大腸炎	23	5	18	16	7	0	0	0	7	1	5	7	3	23	0
筋ジストロフィー	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
脊髄髄膜瘤	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
前頭側頭葉変性症	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
家族性良性慢性天疱瘡	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0
特発性後天性全身性無汗症	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
単心室症	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
抗糸球体基底膜腎炎	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
一次性ネフローゼ症候群	6	1	5	3	3	0	0	0	0	1	1	1	3	6	0
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
間質性膀胱炎（ハンナ型）	3	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0
フェニルケトン尿症	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
強直性脊椎炎	21	9	12	11	10	0	0	1	3	5	5	6	1	21	0
軟骨無形成症	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
後天性赤芽球癆	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0
好酸球性副鼻腔炎	11	10	1	7	4	0	0	0	2	2	2	5	0	11	0
特発性多中心性キャッスルマン病	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
合計	443	89	354	210	233	0	0	17	29	47	63	127	160	434	9

### Ⅲ 健康推進班業務

#### 1 結核対策

図 1 新登録患者の罹患率年次推移

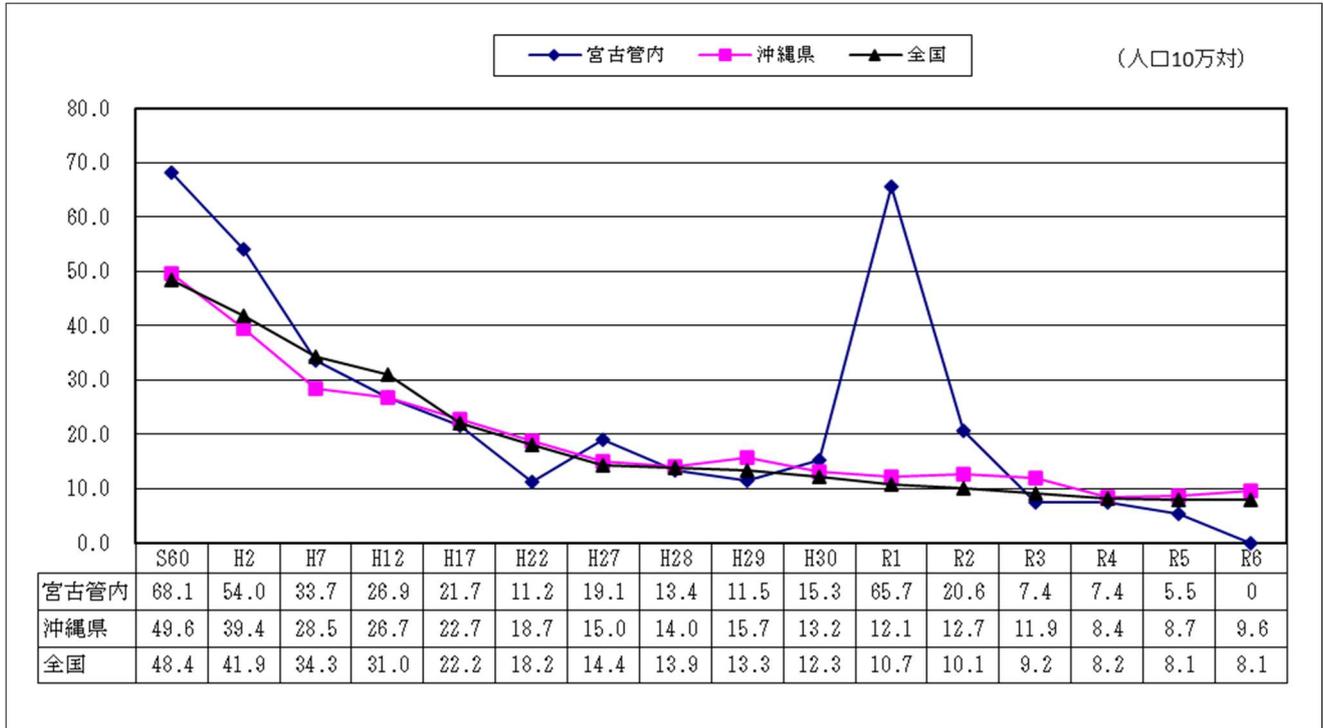


表 1 結核新登録患者(年次別、活動性分類別、年齢階級別)

(単位：人)

分 区 年次別	総 数	活 動 性 肺 結 核				活 動 性 肺外結核	不 明	潜 在 性 結核感染症 (別掲)
		総 数	感 染 性		菌陰性			
			喀痰塗抹 陽性	その他の 菌陽性				
昭和50年	48	45	(0)	(4)	(41)	3	0	4
55年	34	29	(2)	(9)	(18)	5	0	2
60年	41	30	(0)	(8)	(22)	11	0	2
平成2年	31	26	(0)	(14)	(12)	5	0	5
7年	19	18	(2)	(10)	(6)	1	0	16
12年	15	12	(6)	(4)	(2)	3	0	11
17年	12	10	(5)	(2)	(3)	2	0	7
22年	6	3	(2)	(1)	(1)	1	0	11
27年	10	7	(3)	(4)	(0)	3	0	2
28年	7	3	(2)	(1)	(0)	4	0	4
29年	6	3	(1)	(2)	(0)	3	0	3
30年	8	4	(3)	(1)	(0)	4	0	5
令和元年	35	30	(7)	(10)	(13)	5	0	27
令和2年	11	7	(5)	(2)	(0)	4	0	11
令和3年	4	2	(0)	(0)	(2)	2	0	4
令和4年	4	3	(1)	(1)	(1)	1	0	5
令和5年	3	2	(1)	(1)	(0)	1	0	3
令和6年	0	0	(0)	(0)	(0)	0	0	6

表 2 新登録患者の年齢階級別状況

令和 6 年（単位：人）

区分 年次別	総数	活動性肺結核				活動性 肺外結核	不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)
		総数	感染性		菌陰性			
			喀痰塗抹 陽性	その他の 菌陽性				
年齢階級別計	0	0	0	0	0	0	0	6
0～4歳	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	1
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	1
70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	2
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	2
90歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0

図 2 新登録患者の年齢階級別状況

(単位：人)

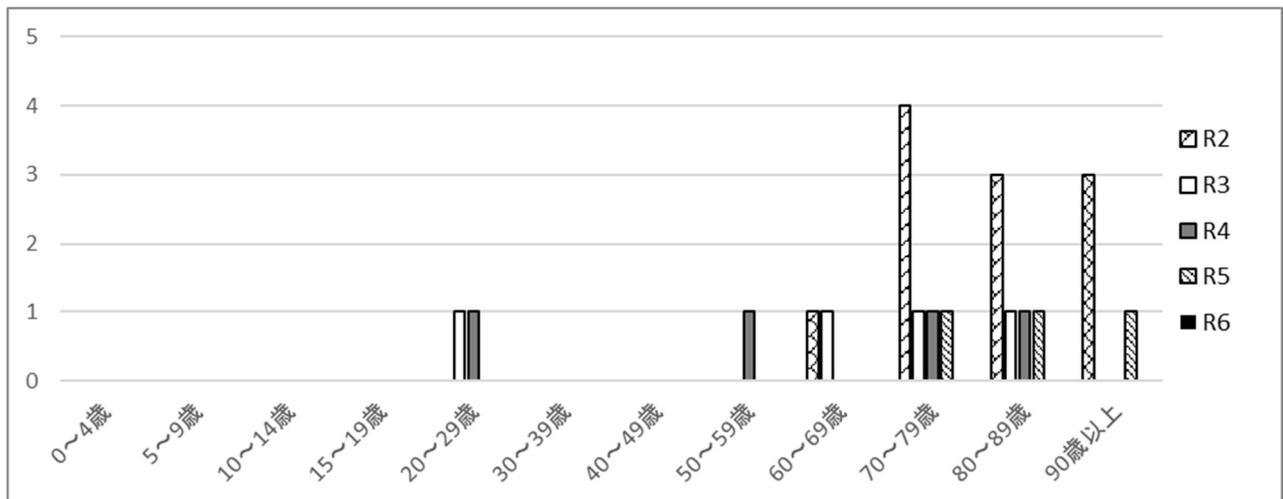


表 3 結核死亡状況

結核死亡率：‰（千分率）

	宮古管内				沖縄県		全国	
	全死亡数	結核死亡数	結核死亡率	人口	結核死亡数	結核死亡率	結核死亡数	結核死亡率
S50年	411	1	2.4	57,762	52	5.0	10,567	9.5
55年	406	2	4.9	60,464	39	3.5	6,429	5.5
60年	375	3	5.0	60,333	28	2.4	4,692	3.9
H2年	461	2	3.5	57,455	32	2.6	3,659	3.0
7年	416	1	2.4	56,248	31	2.4	3,178	2.6
12年	463	1	2.2	55,805	23	1.8	2,650	2.1
17年	517	0	0.0	55,186	17	1.2	2,295	1.8
22年	631	1	1.6	53,452	23	1.7	2,126	1.7
27年	639	1	1.6	52,441	22	1.5	1,955	1.6
28年	623	1	1.6	52,164	14	1.0	1,889	1.5
29年	631	0	0.0	52,343	30	2.1	2,306	1.9
30年	629	0	0.0	52,456	25	1.7	2,204	1.8
R1年	653	1	1.5	53,289	22	1.5	2,087	1.7
2年	690	3	4.3	53,510	21	1.5	1,909	1.5
3年	675	1	1.4	52,850	25	1.7	1,844	1.5
4年	692	0	0.0	53,967	23	1.6	1,664	1.4
5年	740	0	0.0	54,097	27	1.9	1,587	1.3
6年	817	0	0.0	54,031	21	1.5	1,461	1.2

※ 全死亡数及び人口は各年 10 月 1 日時点の推計値を使用

## 2 感染症対策

表1 年次別感染症発生状況（全数報告）

（単位：人）

類型	疾患名	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
2類	結核	22	8	9	6	7
3類	腸管出血性大腸菌感染症	8	7	11	7	22
4類	E型肝炎	0	0	0	0	0
	つつが虫病	3	3	2	3	8
	レジオネラ症	0	2	1	1	1
	レプトスピラ症	0	2	0	0	3
5類	急性脳炎	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	1	4
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	1	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	0	0	2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2	0	0	1
	水痘（入院例に限る）	0	1	0	0	0
	梅毒	2	2	8	1	1
	百日咳（H30年1月～）	3	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	0	0
	麻しん	0	0	0	0	0
	アメーバ赤痢	1	0	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2	0	0	2	0
	合計		44	28	31	22

表2 月別感染症発生状況（定点報告）

令和6年（単位：人）

疾患名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ	475	335	251	81	28	2	21	69	245	282	128	184	2101
RSウイルス感染症	0	0	0	0	4	41	28	2	4	1	2	0	82
咽頭結膜熱	2	1	0	0	1	0	2	1	1	7	0	0	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	16	24	13	16	5	11	10	5	4	4	11	138
感染性胃腸炎	7	9	7	5	2	2	2	2	0	2	4	1	43
水痘	1	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	6
手足口病	11	3	7	15	3	0	24	13	43	43	50	26	238
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	2	3	4	0	1	0	2	2	2	3	3	0	22
ヘルパンギーナ	1	0	1	4	0	3	24	8	5	0	1	0	47
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	4	6	3	7	5	6	6	2	7	2	2	1	51
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新型コロナウイルス感染症	102	76	87	179	198	428	412	84	49	11	14	21	1661
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	9	9	5	5	5	14	4	11	5	10	5	3	85
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日より五類感染症へ移行

表3 定期予防接種実施状況 令和6年度

	DPT（ジフテリア・百日せき・破傷風）・DT（ジフテリア・破傷風）							ポリオ			
	第Ⅰ期				第Ⅱ期			IPV（不活化）			
	初回接種			追加接種	DT（ジフテリア・破傷風）			Ⅰ期初回			Ⅰ期追加
	1回目	2回目	3回目					1回目	2回目	3回目	
	被接種者数	被接種者数	被接種者数	被接種者数	対象者数	被接種者数	接種率	被接種者数	被接種者数	被接種者数	被接種者数
宮古島市	0	1	1	0	581	291	50.1%	0	0	0	0
多良間村	0	0	0	0	10	11	110.0%	0	0	0	0
宮古管内	0	1	1	0	591	302	51.1%	0	0	0	0

	DPT-IPV（四種混合）									
	初回接種							追加接種		
	対象者数	1回目		2回目		3回目				
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	417	64	15.3%	113	27.1%	157	37.6%	412	365	88.6%
多良間村	6	1	16.7%	2	33.3%	3	50.0%	3	5	166.7%
宮古管内	423	65	15.4%	115	27.2%	160	37.8%	415	370	89.2%

	DPT-IPV-Hib（五種混合）									
	初回接種							追加接種		
	対象者数	1回目		2回目		3回目				
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	417	304	72.9%	273	65.5%	226	54.2%	412	13	3.2%
多良間村	6	5	83.3%	5	83.3%	5	83.3%	3	0	0.0%
宮古管内	423	309	73.0%	278	65.7%	231	54.6%	415	13	3.1%

	MR（麻しん・風しん）						BCG（結核）		
	第1期			第2期					
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	367	323	88.0%	476	432	90.8%	437	378	86.5%
多良間村	3	3	100.0%	7	7	100.0%	7	5	71.4%
宮古管内	370	326	88.1%	483	439	90.9%	444	383	86.3%

	日本脳炎										
	第1期							第2期			
	初回接種				追加接種			対象者数	被接種者数	接種率	
	対象者数	1回目		2回目		対象者数	被接種者数				接種率
被接種者数		接種率	被接種者数	接種率							
宮古島市	449	346	77.1%	338	75.3%	506	304	60.1%	635	350	55.1%
多良間村	7	5	71.4%	4	57.1%	3	4	133.3%	11	11	100.0%
宮古管内	456	351	77.0%	342	75.0%	509	308	60.5%	646	361	55.9%

	ロタウイルス										
	対象者数	1価				5価					
		1回目		2回目		1回目		2回目		3回目	
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率
宮古島市	417	230	55.2%	227	54.4%	106	25.4%	110	26.4%	107	25.7%
多良間村	6	5	83.3%	6	100.0%	1	16.7%	1	16.7%	1	16.7%
宮古管内	423	235	55.6%	233	55.1%	107	25.3%	111	26.2%	108	25.5%

	Hib感染症									
	対象者数	初回接種						追加接種		
		1回目		2回目		3回目		対象者数	被接種者数	接種率
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率			
宮古島市	417	58	13.9%	99	23.7%	141	33.8%	391	294	75.2%
多良間村	6	1	16.7%	2	33.3%	2	33.3%	3	3	100.0%
宮古管内	423	59	13.9%	101	23.9%	143	33.8%	394	297	75.4%

	肺炎球菌感染症 (小児がかかるものに限る)									
	対象者数	初回接種						追加接種		
		1回目		2回目		3回目		対象者数	被接種者数	接種率
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率			
宮古島市	417	360	86.3%	370	88.7%	367	88.0%	391	349	89.3%
多良間村	6	6	100.0%	7	116.7%	7	116.7%	3	3	100.0%
宮古管内	423	366	86.5%	377	89.1%	374	88.4%	394	352	89.3%

	HBV(B型肝炎)						水痘						
	対象者数	初回接種				追加接種							
		1回目		2回目		3回目		1回目			2回目		
		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	417	358	85.9%	364	87.3%	323	77.5%	391	338	86.4%	412	315	76.5%
多良間村	6	6	100.0%	7	116.7%	3	50.0%	3	3	100.0%	3	2	66.7%
宮古管内	423	364	86.1%	371	87.7%	326	77.1%	394	341	86.5%	415	317	76.4%

	肺炎球菌感染症 (高齢者がかかるものに限る)			インフルエンザ (高齢者がかかるものに限る)			新型コロナウイルス感染症 (高齢者がかかるものに限る)		
	65歳			65歳以上			66歳以上		
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	871	74	8.5%	15,337	5,300	34.6%	15,621	377	2.4%
多良間村	17	6	35.3%	349	196	56.2%	340	35	10.3%
宮古管内	888	80	9.0%	15,686	5,496	35.0%	15,961	412	2.6%

### 3 多目的コホート研究

#### (1) 目的

多目的コホート研究は、1990年に始まった大規模で長期にわたる観察型の疫学研究である。独立行政法人国立がん研究センターのがん研究開発費※を原資に2021年現在も追跡調査が続けられている。どのような生活習慣・環境をもつ人が、がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病などになりやすいのか、あるいはなりにくいのかを明らかにすることを目的としている。

※2009年までは厚生労働省がん研究助成金による

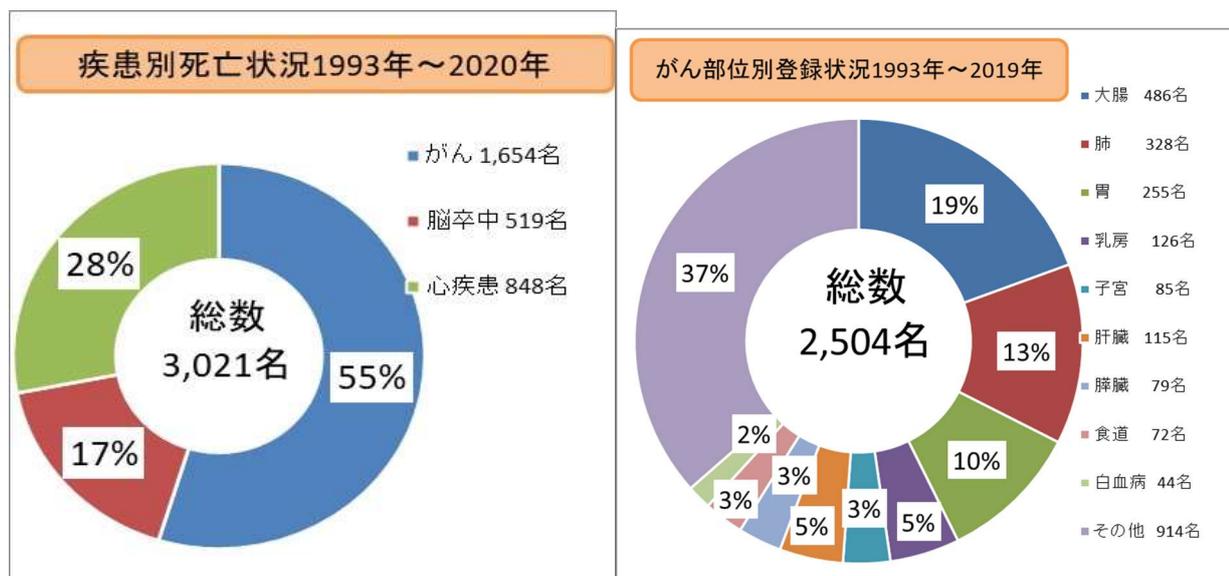
#### (2) 対象（コホートⅡ：1993年研究開始）

1993年に、旧平良市及び旧城辺町に在住する40歳以上70歳未満の方（大正12年1月1日から昭和27年12月31日に生まれた方）14,109名を対象に、市町村の住民基本台帳より抽出した。

#### (3) 内容

独立行政法人国立がん研究センターがん研究事業を実施するため、宮古保健所長が分担研究者となり、宮古地域の住民調査を実施している。現在の主な業務としては、コホート対象者の異動情報処理、死亡情報処理、その他関連業務を実施している。

#### (4) 宮古地域のがん罹患および疾患別死亡状況



## IV 生活環境班業務

### 1 血液関係

赤十字血液センターによる献血事業が年に2回実施されており、高校生を対象とした献血は年1回実施されている。

表1 地区別 献血実績（令和2年度～令和6年度）

（単位：人）

	年度	予定人員	受付者数	不適格者数	献血の種類				予定人員に対する献血者の割合（%）
					200mL	400mL	成分	合計	
平良地区	令和2年度	670	925	167	21	737	0	758	113.1
	令和3年度	980	1,482	248	3	1,231	0	1,234	125.9
	令和4年度	1,000	1,292	180	1	1,111	0	1,112	111.2
	令和5年度	1,290	1,826	224	2	1,604	0	1,606	124.5
	令和6年度	1,280	1,542	145	0	1,397	0	1,397	109.1
城辺地区	令和2年度	20	26	1	0	25	0	25	125.0
	令和3年度	20	16	0	0	16	0	16	80.0
	令和4年度	20	14	3	0	11	0	11	55.0
	令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-
	令和6年度	-	-	-	-	-	-	-	-
下地地区	令和2年度	20	23	2	0	21	0	21	105.0
	令和3年度	20	21	0	0	21	0	21	105.0
	令和4年度	20	25	1	0	24	0	24	120.0
	令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-
	令和6年度	40	41	3	0	38	0	38	95.0
上野地区	令和2年度	120	167	32	0	135	0	135	112.5
	令和3年度	280	345	11	0	334	0	334	119.3
	令和4年度	260	287	10	0	277	0	277	106.5
	令和5年度	215	276	9	0	267	0	267	124.2
	令和6年度	340	328	17	0	311	0	311	91.5

※伊良部地区は令和元年度以降未実施

※多良間村は未実施

資料：沖縄県赤十字血液センター

表2 高等学校別 献血実績（令和2年度～令和6年度）

（単位：本）

	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計
宮古高等学校	6	49	55	0	48	48	0	38	38	0	42	42	0	32	32
宮古総合実業高校	5	21	26	1	18	19	1	14	15	1	19	20	0	28	28
宮古工業高等学校	6	30	36	1	31	32	0	12	12	0	17	17	0	12	12
合計	17	100	117	2	97	99	1	64	65	1	78	79	0	72	72

資料：沖縄県赤十字血液センター

## V 学生実習

NO	実習生所属	実習期間	時間	学生数	実習目的
1	沖縄大学（4年次）	令和6年8月5日 ～8月9日	5日	1	県型保健所と市町村業務の違いを理解し、保健所における管理栄養士の役割を学ぶ。
2	沖縄県立看護大学（4年次）	令和6年9月24日	1日	4	沖縄県における衛生行政の中核を担う保健所の機能、役割を学ぶ。

## VI 研修・講習

NO	実施月日	研修・講習名	場 所	受講対象者	開催回数	研修・講習講師	担 当 班
1	R6. 4. 30	施設職員向けの結核勉強会	宮古厚生園	厚生園職員	1	健康推進班	健康推進班
2	R6. 6. 12 R6. 7. 3 R6. 9. 11 R6. 10. 8 ～10. 9 R6. 11. 20 R7. 2. 12	食品衛生責任者養成講習会	宮古保健所内健康増進室 及び宮古保健所管内施設	食品衛生責任者の 資格取得を希望する者	6	生活環境班技師	生活環境班
3	R6. 7. 3	母子保健担当者研修会	宮古保健所	母子保健業務に従事する支援者	1	沖縄県立中部病院医師、沖縄県立宮古病院看護師、やんばるちびっこの会代表	地域保健班
4	R6. 8. 21	アグリチャレンジ講座	宮古合同庁舎 2階講堂	農作物の加工等に関心がある農家	1	生活環境班主任	生活環境班
5	R6. 9. 3	宮古地区労働衛生大会特別講演 「健診結果から始める健康づくり」	宮古島市中央公民館	労働衛生大会参加者	1	全国健康保険協会沖縄支部 保健グループ長	健康推進班
6	R6. 9. 10	アルコール関連問題支援者研修	宮古保健所	アルコール問題の相談業務に従事する支援者	1	沖縄リハビリテーションセンター病院公認心理士	地域保健班
7	R6. 10. 4	自殺対策支援者研修会	宮古保健所	精神保健、福祉に関する業務に従事する者、相談業務に従事する者等	1	博愛病院院長	地域保健班
8	R6. 10. 4 R6. 10. 8	動物愛護出前講座	宮古島市立結の橋学園 (伊良部島小中学校)	結の橋学園生徒 (小中学生)	3	生活環境班主任	生活環境班
9	R6. 10. 5	小児慢性特定疾病等講演会	宮古保健所	小児慢性特定疾病児の保護者、支援者等	1	沖縄県立宮古病院産婦人科医	地域保健班
10	R6. 10. 11	環境法令講習会	宮古合同庁舎 2階講堂	建設業関係者	1	生活環境班主任	生活環境班
11	R6. 10. 31 R6. 11. 1	動物取扱責任者研修	宮古保健所2階大会議室	動物取扱責任者	2	生活環境班主任技師	生活環境班
12	R6. 11. 9	宮古地区精神保健福祉普及啓発講演会	宮古保健所	宮古保健所管内在住の一般住民	1	沖縄県立宮古病院精神科医	地域保健班
13	R6. 11. 14	食品表示制度講習会	JTAドーム	食品取扱事業者	1	生活環境班技師 健康推進班	生活環境班 健康推進班
14	R6. 12. 7	多良間村アルコール一般講演会	多良間村コミュニティー施設 1階ホール	多良間村住民	1	地域保健班保健師	地域保健班
15	R6. 12. 19	難病医療講演会	宮古保健所	難病患者支援に従事する者	1	琉球大学病院臨床心理士	地域保健班
16	R6. 12. 23 R6. 12. 24	子ども家庭センター設置・運営に係る実践研修会（宮古島市、多良間村）	①宮古島市役所 ②多良間村役場	母子保健業務に従事する市村職員	2	公益社団法人母子保健推進会議会長	地域保健班
17	R7. 3. 21	食中毒原因施設従業者向け食品衛生講習会	宮古保健所2階大会議室	食中毒原因施設従業者	1	生活環境班主任	生活環境班
18	月 1回	浄化槽設置者講習会	宮古保健所2階大会議室	浄化槽設置者	12	生活環境班主任	生活環境班
19	原則 月 1回	食品衛生講習会	宮古保健所2階大会議室	食品取扱事業者	16	生活環境班技師	生活環境班

## VII 研究実績

No.	報告月日	研究テーマ	学会名等	研究者
1	R6. 7. 26	産業廃棄物処分業許可取り消しにともなう事業場内残置廃棄物の処理に関する指導事例について	衛生監視員 研究発表会	生活環境班主任